



ききょう便り

平成21年 夏号(第18号)



ききょうの里夏祭り

ご挨拶

理事長 松井 文男

本年5月26日開催の理事会において、理事長に選任されました松井文男でございます。

今後、諸事お世話になります。よろしくお願い申し上げます。勿論、前理事長の小野武男さんの手腕には叶うべくもなく、又経験豊富な前任者の様なわけには参らないと思いますが、それなりに努力して参る所存でございます。

現在の介護事業は運営に難しさがある上、未だに労働体系や給与体系等にも何かしっかり確立されていない部分がある様な気がしております。

急激な高齢者人口の増加に対し、社会環境が追いついて行けず、新聞のアンケート等にも「自分の老後が不安という思い」が高率に表れているようです。

この様な不安感を解消して行くのが吾々の責務のような気が致します。

ある日の新聞の投稿欄に「アニメ殿堂より老人施設の充実を」と言う見出しで意見が載っていました。その内容は「国の補正予算に、アニメ殿堂の建設費として100億円が計上されているが、衆議院で再可決の上成立した。入居待ちの高齢者が数十万人も居るといふのだから、100億円もの予算があれば全国の老人施設が随分改善されるであろうに、正にマンガチックな発想である。」というものでした。吾々の立場からすれば正にその通りであると思うのです。

この度の国の補正予算の中には、介護職員の待遇改善策も含まれていますが、例え経験のない職員であっても待遇環境や労働環境をしっかりと構築して安全な施設運営を計って行くことが焦眉の急務であると思えます。

景気悪化の社会環境の中での健全な施設の運営に、大方のご協力をお願いして就任のご挨拶と致します。



社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

〒378-0002
群馬県沼田市横塚町957番地2
TEL 0278-23-8831
FAX 0278-23-8832

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルプステーション

〒378-0061
群馬県沼田市岡谷町687番地
TEL 0278-23-8861
FAX 0278-23-8852

ききょうの里 (従来型)

ききょうの里(従来型)では、6月21日に「父の日」の行事を行いました。

お昼には厨房より箱膳を出してもらい、午後のおやつの中には焼きまんじゅうを召し上がって頂きました。箱膳ではお赤飯や天ぷらなどたくさんのごちそうが出て、皆様とても喜ばれていました。普段は少食な方も食が進むようで、「おいしい、おいしい。」と召し上がっていました。お赤飯を見て「私も昔はよく作ったんだよ。」と昔の話を聞かせてくれる方もいました。

また、ある男性の方は以前から「ラーメンが食べたい。」との強い希望があったため、給食係と相談し提供することができました。とても楽しみにされていたようで、涙を流して喜ばれていました。

焼きまんじゅうも皆様大好きなようで、何回もおかわりする姿が多々見受けられました。あん入りとあんなしの両方を用意しましたがとても好評で、あん入りは本当にあっという間になくなってしまいました。

今回はノンアルコールビールやジュース等での乾杯は行わなかったのですが、「やはりお祝い事なので乾杯したかった。」という声も聞かれましたので、今後は利用者様の要望を取り入れつつ、皆様に喜んでもらえるような行事を実施していきたいと思えます。



ユニット型 (大地グループ)

個別外出として6月3日に、利用者様が大変楽しみにしていた迦葉山ドライブへ行きました。行きの車内では、迦葉山の話で盛り上がり、歌を歌ってくださった利用者様もいました。到着し散策していると、大きな天狗に驚いたり、長い鼻を触ってみたりと皆様が笑顔で大変喜ばれておりました。観光の方や保育園児もいて、声を掛けたり掛けられたりと、生き生きする利用者様の姿を見ることができました。ひと休みでベンチに腰を掛け、おにぎりを食べると、目の前の新緑とおいしいおにぎり「空気もおいしいし、おにぎりもおいしいね。」と次々に笑顔が見られました。帰りには、なめこセンターでなめこ汁を頂き、新しく出来たデイサービスセンター岡谷にも立寄り、お茶を頂いて皆さん満足された様子でした。



また、6月18日と7月3日にはファミリーレストランに行きました。メニューを開き、どれを食べようか悩んでおられましたが、いざ食事を前にすると終始笑顔で会話も絶えず、楽しいひとときでした。

利用者様の笑顔を見ていると、介助させて頂く職員も笑顔になり良い思い出となりました。

今後も、利用者様の希望に添ったお出かけ行事が実施できるように計画したいと思います。

ユニット型 (大空グループ)

5月下旬、子持方面にドライブに出かけてきました。昼食は17号バイパスにあるハンバーガーショップで、生まれて初めてハンバーガーを口にされ、「これはなんだい？」と目を丸くしながら頬張っていました。

昔はなかった食べ物が、今は数多く出ています。この昼食は利用者様にとって、とても貴重な体験になったと思えます。



また6月中旬、利用者様のリクエストにより、迦葉山にドライブに出かけてきました。大きな天狗を見たり、手を合わせたりと思い思いの時間を過ごされた後、近くの食堂で昼食をいただきました。ほとんどの方がうどんを注文され、「あ〜うんまかった。」と大変喜ばれていました。

利用者様の思いを形にしていくことは、利用者様に元気で、毎日喜んで暮らしていただく事に繋がっていると改めて気づかされました。

これからもその笑顔のために私たちに何ができるか、毎日の業務の中で模索しながら、形にしていきたいと思えます。

ききょうヘルプステーション

ヘルプステーションでは、ホームヘルパーとして利用者様により良いサービスが提供できるよう、職務能力の向上のため、また、自己研鑽のため積極的に研修会へ参加しています。

「介護保険の現在と未来」や「人権について」の講演では、色々と考えさせられることも多く、また、「介護の基礎講座」や「介護技術を学ぼう」というテーマでの研修では、介護の基本を再確認する良い機会にもなりました。

料理講習会は、「空っぽの冷蔵庫から何ができますか？」というテーマで行い、「限られた材料を使って限られた時間(30分)で、どんな調理ができるか！」と張り切って取り組みました。ある班では、◇食材【人参・玉葱・キャベツ・玉子・小麦粉】◇調味料【醤油・味噌(だし入り)・砂糖・塩・油】という材料で、次の6品の料理ができました。



- ①玉葱・人参の玉子とじ
- ②キャベツ・人参の漬物
- ③玉葱・人参・ゆで玉子のサラダ
- ④人参のきんぴら
- ⑤玉葱・人参の味噌お焼き
- ⑥キャベツ・人参・玉葱・玉子の味噌汁

皆で意見を出し合いながら、見た目も味もとても良くできました。日頃の援助の中でも生かしていきたいと思えます。

ききょうデイサービスセンター

デイサービス利用の楽しみの一つとして、レクリエーションがあると思います。

集団レクリエーションや個別レクリエーションなどがありますが、今回は、個別レクリエーションを紹介したいと思います。

職員が講師となり、希望される利用者様と一緒に、身近にある材料を使い、写真立てや人形作りから正月の飾り物など、様々な物を作っております。

また外部講師のご協力により、毎月「絵手紙教室」と「手まり教室」も実施しています。

「絵手紙教室」は、毎月季節に沿ったテーマを題材にし、霜垣夢見子先生の指導のもと、筆や墨・絵の具を使いハガキに絵を描いていただき、絵を描き上げた後に、ひとこと言葉を書き添えて完成となります。同じテーマの題材を描いておりますが、それぞれ個性を持った違った絵となります。さらに、自分の気持ちを素直に表現した言葉を書き添える事で、より一層個性がでて素晴らしい作品に仕上がります。

「手まり教室」は、外山よね先生の指導のもと、手まりを作成しています。

ビニール袋の中にもみ殻を入れ、丸く形を作ったものを芯にして、毛糸や木綿糸を丸くなるように巻き付け、さらに何色かのリリアン糸を重ね合わせて、まりに模様を付けて仕上げます。長年参加されている利用者様は、技術レベルが上がり難しい作品も作れるようになり、自宅で趣味として楽しんでいる利用者様もいます。

個別レクリエーションは、その人に合ったものや、その人が望むレクリエーションが実施可能であり、自立支援に効果的と言われております。

現在行なわれている個別レクリエーションは、女性を中心としたものが多く、男性向けの個別レクリエーションが課題となっております。今後は将棋や五目並べ大会の開催や、陶芸などの男性中心の個別レクリエーションも構想中であり、実現に向け頑張っていきたいと思っております。



看護職員より

★感染症研修会に参加して★

群馬県主催の感染症に関する研修会に参加して参りました。巷では新型インフルエンザが静かな広がり続けるなか、県内各施設より医療関係者の多くが出席していて、感染予防への関心の高さがうかがえました。

ほぼ全ての感染源は我々の眼には見えず、また感染したことにも気付かず、症状が出て初めて自覚できるものです。そのため、この目に見えない敵が自らの体内に侵入してくるのを防ぐことが大変に難しく、感染対策の大きなテーマにもなっているのです。

研修会では、病原体が潜んでいる床や壁の清掃、病原体を媒介する人の手の消毒法、人の手が触れる電気のスイッチやドアノブなどの清掃について有効性が示されておりました。一見、原始的とも思えますが科学的根拠に基づいて比較検討され、現在では感染対策の基本となっております。

研修を受けて日頃の業務を振り返ってみると、まだまだ改善の余地があるようです。感染対策は、部分で行っても効果はありません。あらゆるケアシーンで連続して徹底して行われる必要があります。

幸いにも施設では、ここ2年ほど大きな感染症の流行はありませんでした。今後施設内でひとつひとつの動作から見直し、有効な対策を行っていけるよう改善を図っていこうと思っております。そして、来たる流行シーズンに備え、流行の防止に努めて参ります。



給食係

7月7日に給食係から、ささやかではありますが七夕を感じていただきたいと思い、七夕ゼリーを作ってみました。透明な寒天ゼリーの中に赤と



緑に色をつけ、星形に型抜きをしたゼリーを入れました。ゼリーの中に2色の星が浮かび、まるで彦星と織姫が寄り添うようなイメージです。利用者の皆様に喜んでいただけたらとの思いで作りましたが、残念なことに色が透明なゼリーの方に移ってしまい、ぼやけて星が見えませんでした。苦勞して型抜きをしたのに・・・とショックを受けましたが、利用者の皆様から「ゼリーの中から星が出てきてびっくりした」「涼しそうなゼリー」「透明の中に色がありキレイ」とコメントと笑顔を頂き、作ってよかったと

給食係全員で喜びました。デイサービスの利用者様には七夕そうめんの一日目に参加された方にしか出せず申し訳ありませんでした。

給食係では、『おいしく楽しく季節を感じられる食事作り』を今年度の目標としています。今回のみなさんの声を励みに、これからも季節を感じられるような行事食を目指していきます。

沼田市在宅介護支援センターききょう

沼田市生きがいデイサービスに通っていらっしゃる方から、先日の訪問時こんな話を聞くことが出来ました。「昨年夏より、生きがいデイサービスに通うようになって1年が経ったけど、行く前までは一人で家に居るのがつまらなくて、どう過ごしたらいいかなと思ってたけど、通うようになってから楽しみも増え、身体が丈夫になったような感じがする。」という内容でした。

たまたま、家族の方も来訪されており、「楽しんで、元気に通ってもらえて本当に良かった。いつもは、一人で居るので楽しみもないみたいな感じで、私たちが来て黙ったままのことが多かったのに、最近はデイサービスであったこと等を話して聞かせてくれるようになりました。」とおっしゃっていました。

足も弱くなかなか外に出られずにいる方だったので、私もその話を聞いてとても嬉しく思いました。

生きがいを持つということは、喜びや楽しみに繋がるのだろうなと思いましたし、高齢になっても出来る限り外へ目を向けることが大切なのだろうと感じました。

沼田市では、その他にも介護保険非該当者が利用できるサービスもありますので、興味のある方は支援センターへお電話下さい。



ききょうデイサービスセンター-岡谷

ききょうデイサービスセンター岡谷は、今、まさに花盛りです。花壇やプランターには、さまざまな花が咲き、施設の前を通る方々が振り向いてくれます。また、家庭菜園では、胡瓜、茄子、南瓜、インゲン、ピーマン、ひょうたん、ハヤトウリ等が沢山の花や実をつけています。おやつには、取れたての野菜で即席漬けやお焼き、炒め物などを作って召し上がっていただき、利用者様に大好評です。



現在17名の利用者様にご契約いただきました。毎日のご利用者は、曜日により異なりますが、1～8名の利用状況です。認知症専門のデイサービスとして、出来るだけ個別ケアに重点を置き、かつ家庭的な雰囲気により、利用者様の症状の維持、改善を目指しています。定員は1日あたり12名とまだまだ余裕がございますので、希望者ございましたら、是非、ご利用、ご紹介下さい。

先日は池田地区の民生児童委員の皆様(11名)がお越し下さり、施設を見学していただきました。皆様には、いつもおやつで提供している特製お焼き(通称「石原焼き」)や漬け物を召し上がっていただきましたが、建物もサービスも他施設とは違う家庭的な雰囲気が良いと好評でした。

岡谷町の夏祭りでは、盆踊りや御神輿に参加させていただき、地元の皆様と交流を持つことができました。これからも地元との関わりを大切にしていきたいと思っております。

職員紹介

この職に就いて



介護職員
阿蘇祐子

私が介護職に就こうと思った原点は、父親の介護にあったと思います。介護をするにあたり、自分が何をしてあげたらいいのか、自問自答と歯痒さの中で、自分を責める日々もありました。そんな中、ヘルパー2級の講習を知り是非受けたいと思えました。その時点では、まさか介護の世界に入るとは考えてはいませんでしたが、勉強するにつれて奥深さを感じこの仕事に就いてみたいと思い、ききょうの里にお世話になる事になりました。今年で7年目になりますが、今でも初心を忘れないように不器用ながら奮闘し頑張っています。自己の向上の為、先輩の方々の力添えもあって介護福祉士の資格も取得する事ができました。日々感謝の気持ちを忘れず、少しでも先輩に近づけるように努力を重ねたいと思っております。

私は現在デイサービスセンターで働いていますが、特に力を入れている事があります。それは「集団レクリエーション」です。ご家族や利用者様のニーズの中には、他者との交流を望まれている事が多くあります。集団レクリエーションでは、ゲームを通し利用者様同士の交流を深めることが目的の一つではないかと思っております。

ゲームをする中で、普段交流を取りづらい方も一緒に行うと、手をたたいたり、声を出して笑う、真剣に取り組まれる等、喜ばれ、頑張る姿はとても嬉しい事です。それには、介護職員も共に一体となり楽しむ事が一番ではないかと考えています。デイサービスセンターに来て「一日楽しかった」との言葉を聞くたびに、本当に充実した気持ちになります。

介護とは何か、と言われると全てを理解できてはませんが、利用者様の笑顔を見る事こそ一番の介護かもしれません。

これからも、日々精進し最高の介護を目指して頑張ろうと思っています。

ききょうの里夏祭り



7月19日に横塚町と共催で「ききょうの里夏祭り」を行ないました。

当日は、地元横塚町の皆様や育成会の役員の方々や子供達をはじめ、利用者様

のご家族の皆様等、多くの皆様にお越し頂き盛大に行なうことが出来ました。フランクフルトや焼きまんじゅう、くじ引き、らくがきせんべいなど多くの模擬店は子供達や利用者様で賑わっていました。

毎年恒例の職員による「ソーラン節」の踊りは、総勢26名で披露することが出来ました。当日暑い中お越し頂きました皆様、ありがとうございました。



今後の予定

☆ききょうデイサービスセンター

- 8月 夏祭り(5.6.7日)
- 9月 敬老誕生会(中旬)・りんご狩り(下旬)
- 10月 運動会(下旬)

☆ききょうの里 ☆ユニット型

- 8月 花火大会(下旬)
- 9月 敬老食事会(13日)・ぶどう狩り(下旬)
- 10月 りんご狩り(下旬)



☆ききょうデイサービスセンター岡谷

- 8月 納涼祭(下旬)
- 9月 ぶどう狩り(下旬)
- 10月 紅葉ドライブ(下旬)



◇◇編集後記◇◇

施設の庭に植えてあるブルーベリーが、今年もたくさん実をつけました。

晴れた日には、利用者様がブルーベリー狩りを楽しんだり、ジャムを作ったりして利用しました。甘く実ったブルーベリーは、みんなでおいしく頂くことが事ができました。

来年もたくさんの実を付けてくれることを期待したいと思います。

